

令和7年度第2回定時理事会議事録

1 開催日時 令和8年3月30日（月曜日） 午後14時00分から午後15時10分まで

2 場 所 公益財団法人 東京都つながり創生財団
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル8階

3 理事の現在数 6名

4 出席理事の数及び氏名 6名 角田 マリ
前山 琢也
押味 亜希子
大橋 薫
鳥田 浩平
矢崎 理恵

5 出席監事の数及び氏名 2名 有我 康子
加倉井 祐介

6 議 長 角田 マリ

7 議事録署名人 角田 マリ
有我 康子

8 決議事項

- 第1号議案 第1次中期計画承認の件
- 第2号議案 令和8年度事業計画書及び収支予算書等承認の件
- 第3号議案 職員給与規程一部改正の件
- 第4号議案 評議員・理事候補者の選任の件
- 第5号議案 臨時評議員会の「決議の省略」による開催の件

9 報告事項

- ・理事長及び常務理事の職務執行状況について
- ・資金運用規程に基づく報告について

10 議事

(1) 開会

冒頭、本会が定足数を満たし、理事会として有効に成立していること及び定款第4条第2項の規定に基づき、本会の議事録には理事長及び監事が記名押印することの報告があったのち議事に入った。

(2) 議案説明

ア 「第1号議案 第1次中期計画承認の件」に資料に基づき事務局から説明を行った。事務局による説明の終了後、以下の発言があった。

(質問)

- ・町会自治会の支援について。財団が事業計画や中期計画で記載している各事業の成果が町会自治会の活性化につながっているかということについて、どのように評価していくのか。また、町会自治会のそれぞれの活動に財団事業がどのように影響を与えているのか、よく分析を行ってほしい。

(回答)

- ・町会自治会の活性化に係る成果は、究極的には加入率や町会自治会数など都で調査している数値などで測ることができると考えられるが、財団としても、各事業の実績を伸ばしていくことで、町会自治会の活性化に貢献するとともに、好事例を発信・共有することで、その取組を広げることにより寄与していきたい。また、財団事業による支援の成果をしっかりと分析することで、事業の改善に活かしていきたい。

(意見)

- ・財団は、やさしい日本語の推進をしているが、中期計画にはカタカナ語が多い印象。今後、財団としての作成物などは、分かりやすい表現だと良いと考える。

イ 「第2号議案 令和8年度事業計画書及び収支予算書等承認の件」について、資料に基づき事務局から説明の終了後、以下の発言があった。

(意見)

- ・財団の特長でもある多文化共助社会づくり・共助社会づくりの重なる事業がどのように展開されているのか今後、事業計画書等に記載があると良い。

(質問)

- ・日本語を母語としない子供への支援事業費について。いつまでに何を目指していくのかといった目標となる指標や絵姿を是非とも今後に向けて定めてほしい。

(回答)

- ・来年度以降、支援体制を整備するため新たな事業の実施を行う。ただし区市によって状況は異なるため、来年度は5区市をモデル区市として選択、それぞれのパターン分けを行い、各区市に横展開できることを目指していく。出来るだけ早く対応していきたい。取組は、区市町村の協力も必要不可欠であり、連携して対応を進めてまいりたい。

ウ 「第3号議案 職員給与規程一部改正の件」について、資料に基づき事務局から説明を行った。事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

エ 「第4号議案 評議員・理事候補者の選任の件」について、資料に基づき事務局から説明を行った。事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

オ 「第5号議案 評議員・理事候補者の選任の件」について、資料に基づき事務局から説明を行った。事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

(3) 決議

議長が、第1号議案から第5号議案まで一括で決議を求めた。この結果、異議はなく、全議案について出席理事の全会一致をもって原案どおり可決された。

11 報告事項

- ・理事長及び常務理事の職務執行状況について

上記について、資料に基づき理事長及び常務理事から報告を行った。理事長及び常務理事による説明の終了後、特に意見はなかった。

- ・資金運用規程に基づく報告について

上記について、資料に基づき事務局から報告を行った。事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

12 その他

事務局から財団広報の取組について報告を行った。事務局による説明の終了後、特に意見はなかった。

13 閉会

以上をもって議事が終了したため、議長が閉会を宣言し、令和6年度第2回定時理事会を終了した。